

市報

やまぐち

2023

11/1

November
No.423



特集	山口市の宝 湯田温泉	2
特集	次世代に受け継ぐ 山口市の宝	6
	■令和4年度まちづくりの取り組み状況	8
	■令和5年度上半期 財政状況を公表します	11
	■令和4年度決算報告～市民1人当たりいくら?～	12
	■市政トピックス	16
	■県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」	17
	■イベントカレンダー	18



①狐の足あと／湯田温泉を中心とした観光・食・特産品の情報を発信しています。(平成27年) ②何遠亭／井上公園の新たなシンボルとして休憩施設を整備しました。(平成27年) ③湯の香通り／リニューアールオープンし、無料の足湯に加え、手湯も楽しめるようになりました。(令和元年) ④湯田温泉スマートインターチェンジ／パーキングエリア(PA)の名称も湯田PAから湯田温泉PAとなり、高速道路を利用した湯田温泉へのアクセスが向上しました。(令和2年)



▲市内各店舗・施設で提示すると、特典を受けられる「ゆけむり手形」。1冊200円で販売中。



賑わいが戻り

◀足湯を楽しむ人々で賑わう「狐の足あと」

4年ぶりに開催された「湯田温泉スリッパ卓球大会」決勝の様子▶



イベントも再開

住んでよし・訪れてよしの湯田温泉の実現に向けて

市では、こうした湯田温泉の地域資源をさらに磨き上げ、より多くの皆さんに足を運んでいただくため、市民の皆さんにも観光客の皆さんにも魅力を感じていただける「住んでよし・訪れてよしの湯田温泉」の実現に向け取り組んでいます。

これまで、湯田温泉駅前の駐輪場や公衆トイレ等の一体的な整備をはじめ、湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」や何遠亭を含む井上公園、湯の香通りの整備などを段階的に進めてきました。

また、湯田温泉スマートインターチェンジの整備など、アクセスの向上に向けた取り組みも実施してきました。

市では、現在、令和7年度までを計画期間とする湯田温泉周辺地区都市整備計画のもと、県道204号北側を中心としたエリアの再生整備を進めています。

今年度は、そぞろ歩きを楽しめる歩行者空間の創出に向け、市道中央二丁目湯田温泉四丁目線(錦川通り)や市道湯田温泉二丁目泉町線等の美装化工事を進める予定です。

また、湯田温泉の魅力創出や回遊性の向上につなげるため、空き家・空き店舗等への出店に対する費用を支援し、湯田温泉の賑わいを創出するため、市内の飲食店や温泉・観光施設のお得な特典付きの有料ガイドブック「ゆけむり手形」を販売するなど、市内外から訪れた皆さんに、湯田温泉をさらに楽しんでいただくためのさまざまな取り組みを行っています。

コロナ禍からの回復

令和2年度以降、湯田温泉では、年間観光客数が40万人弱まで減少するなど、コロナ禍に苦しんできましたが、全国旅行支援などの旅行需要喚起策によって全国的に旅行の機運が高まったことや、行動制限が緩和されたこともあり、現在は宿泊者数・観光客数ともに回復傾向にあります。

また、ここ数年は、不要不急の外出の自粛要請や大規模なイベントの中止・延期などにより、市民の皆さんや市内外の観光客の皆さんが交流する機会も減っていました。

しかし、最近では、地域のお祭りやイベントが数年ぶりに開催され、市内外から多くの観光客や宿泊客が訪れるなど、徐々に地域に賑わいが戻ってきています。湯田温泉は、多くの市民の皆さんにとっても、地域の方や観光客など、さまざまな人と気軽に交流を楽しめる憩いの場として親しまれています。

住んでよし・訪れてよしの湯田温泉



山口市の宝 湯田温泉

湯田温泉パーク整備推進室
☎083-934-2615

白狐が見つけた名湯「湯田温泉」

約800年前、ある寺の池で「白狐」が足の傷を癒していたのを和尚さんが見つけ、温泉として開湯したのが湯田温泉の始まりだと伝えられています。

湯田温泉は、アルカリ性単純温泉の肌によく馴染むやわらかい湯が特徴で、「美肌の湯」とも呼ばれています。源泉温度が非火山性では珍しい70度以上と高温で、日量2000トンの豊富な湯量を誇ります。

開湯以来、山陽路随一の名湯として、江戸時代のお殿様や幕末に活躍した維新の志士、詩人・俳人などを始め、多くのの人々に親しまれてきました。

気軽に楽しめる、まちなかの温泉

湯田温泉は、市街地の中心に温泉が湧き出している「まちなか温泉地」で、温泉街と住宅地が隣接している、という全国的にも珍しい特徴があります。

山口県の中央部に位置していることから、周辺の観光スポットへの周遊拠点としての利便性が高いのも、魅力の一つです。

また、湯田温泉街には、宿泊施設や立ち寄り湯だけでなく、無料で利用できる6カ所の足湯、飲泉場や手湯もあり、街中のいたるところで、気軽に湯田温泉の恵みを楽しむことができます。

さらに、多くの飲食店が立ち並んでおり、昼も夜も気軽に飲食を楽しむことができます。



①湯田温泉駅前では、高さ8mの白狐のモニュメントが訪れた人々を出迎えます。
②湯田温泉駅では、足湯につかりながら列車を間近で眺めることができます。
③温泉舎では、天然温泉が湧き出る様子を見たり、飲泉場で温泉を飲んだりできます。

天候を気にせず遊び、交流できる

大屋根広場

施設の最大の特長である全天候型の大屋根広場では、子どもたちの遊び場としての利用をはじめ、地元のお祭りやフードイベント、これまで市内で体験できなかったスケート体験会やパブリックビューイングなどの会場として、天候を気にせずに、多様なアクティビティの実施が可能です。

あらゆる世代の市民や観光客の皆さんが、気軽に交流を楽しむことができます。

- ①子どもたちが雨の日でも自由に遊べます。保護者が子どもたちを見守りながら、くつろいだり、思い思いに過ごしたりできるスペースも設置します。
- ②施設に併設する大型ビジョンを活用したパブリックビューイングを楽しむことができます。



ユニバーサルデザインにも配慮した 誰もが楽しめる施設

子どもや高齢者、障がいのある方など、誰もが使いやすく、ユニバーサルデザインにも配慮した施設とします。

車いす利用者も安心して入浴できる昇降式浴槽や、年代や障がいの有無に関わらず楽しめるインクルーシブ遊具、おむつ交換等に利用可能なユニバーサルシートなどを設置します。

- ①2つの異なる趣の浴場を設けます。浴場には、湯田温泉の泉温の高さを生かした「あつ湯」と長くゆっくりとつかれる「ぬる湯」の2種類のお風呂を設置します。
- ②車いす利用者も利用できる昇降式浴槽を備えた貸切風呂。
- ③未就学児や障がいのある小さな子どもたちにも遊びやすい遊具を設置するなど、年代や障がいの有無に関わらず楽しめる環境を整えます。



整備スケジュール

年度	R5	R6	R7
工事	建設	建設工事	西側駐車場整備工事
	解体	寿泉荘解体工事	
施設の運営			供用開始 グランドオープン



12月から愛称募集!

市民も観光客も みんなが集える大屋根広場 湯田温泉パーク

湯田温泉パークの敷地南西側からの鳥瞰図

新たな交流と賑わいが生まれる場

市では、湯田温泉という本市が誇る地域資源を市民の皆さんにもっと身近に感じていただき、より多くの方に足を運んでいただくため、新たな交流と賑わいの拠点として「湯田温泉パーク」の整備を進めており、このたび施設の建設がスタートしました。

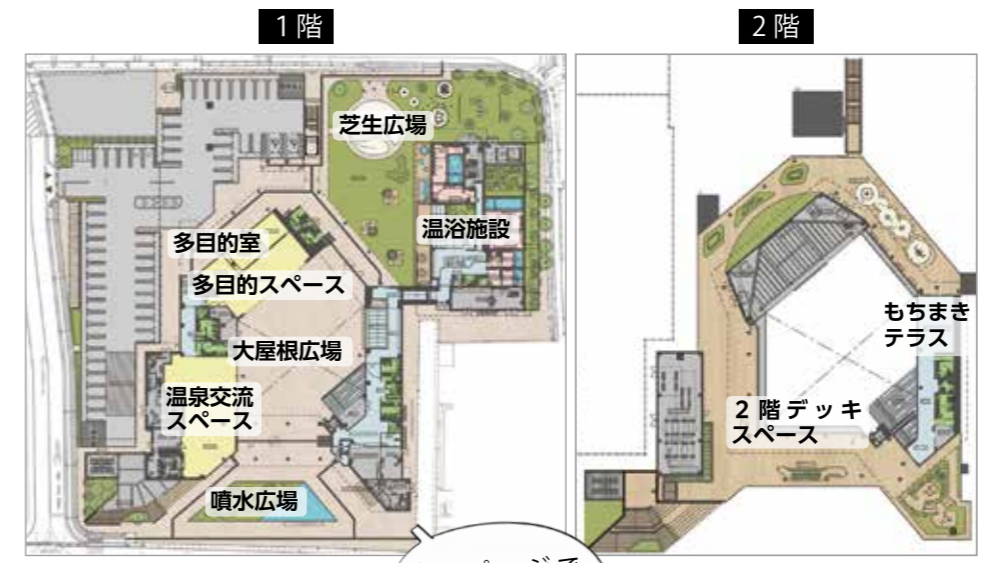
施設には、最大の特長である全天候型の大屋根広場を備えるとともに、老朽化した山口市老人憩の家寿泉荘の建て替えに合わせ、誰もが楽しめる温浴施設などを備えることとしており、世代を超えた市民同士の新たな交流や、国内外からの観光客との交流を図ります。

宿泊や飲食などを目的とした夜間の来訪者が多い湯田温泉において、日中に本施設を訪れていただくことで、湯田温泉に新たな人の流れを生み出すことを目指します。そして、本施設から湯田温泉ゾーン内の飲食店・宿泊施設等への需要の創出や温泉街の回遊促進を図ることで、湯田温泉のさらなる活性化や魅力的なまちづくりに資することを目指します。

また、皆さんにとって親しみやすく、愛される施設となるよう、12月から「湯田温泉パーク」の愛称を募集する予定です。

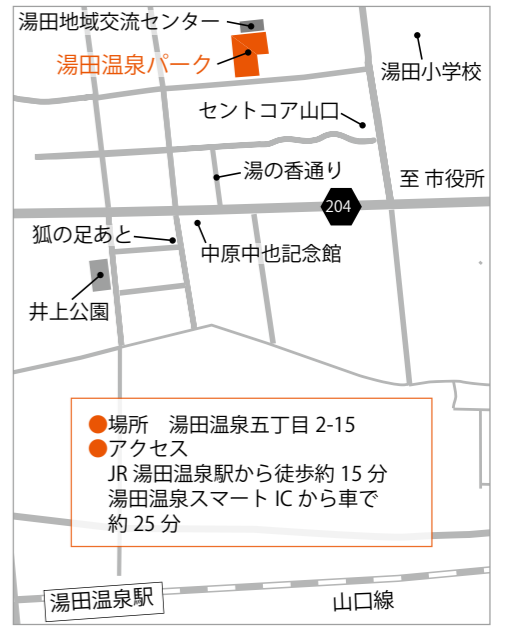
本施設を活用し、新たな交流や湯田温泉のさらなる賑わいの創出、新たな価値の創造につなげていきます。

■平面計画



次のページで、施設の一部をご紹介します!

■位置図



次世代に受け継ぐ

山口市の宝

瑠璃光寺五重塔



瑠璃光寺五重塔は、室町時代、大内家当主の大内盛見が、戦で亡くなった兄・義弘の冥福を祈るために建てたものです。室町時代の優れた建築の一つであるとともに、この地に栄えた大内氏の文化を示す重要な建物でもあります。

檜皮葺(※)屋根の部分葺き替えから約25年が経過し、傷みが進んでいることから、現在、約70年ぶりに全面葺き替え工事を行っています。工事は、防災施設の整備などを含め、約

7億6000万円の多額の経費が見込まれるため、国・県・市の補助金のほか、観光団体等が中心となってクラウドファンディングを行っています。

この工事は、国宝「瑠璃光寺五重塔」を次の世代へ引き継ぐために必要な保存修理であるとともに、文化財建造物の保存修理を支える伝統技術の継承の場ともなります。

※檜の樹皮を丁寧に取り取り、竹釘を使って何層にも重ねるもので、日本特有の屋根建築の工法です。

Interview.

瑠璃光寺五重塔
改修工事現場責任者

わたなべ あつゆき
渡辺 敦之 さん

協和建設工業(株) 建築部係長

文化財の保存修理の特徴の一つが、次の世代への記録を残すことです。例えば、屋根の軒付(檜皮葺き等の軒先の特に厚く葺く部分)の裏板一枚一枚にも、取り外すもの全てに番号が付いていて、取り換えた木には目印を付けています。次に修理をする人が文化財の状態を目見て分かるように、記録を残しています。

今後の見学会などで、まずは皆さんに近くで五重塔を見ていただきたいですね。こういう建物があるんだ、こんな構造になっているんだ、大事な建物なんだ、ということを感じて、他の歴史的な建物にも興味を持っていただくことが、未来に向けて文化財を守っていくことにつながると思います。



▲軒付の裏板を取り外す様子

「令和の大改修」にあたってークラウドファンディング実行委員会の声

瑠璃光寺五重塔は、年間50万人を超える観光客が訪れる山口市が誇る観光のシンボルであり、多くの市民に愛されている文化財です。

現在、工事のため荘厳な全姿は見えなくなっていますが、工事が無事終わり一日も早く新しく生まれ変わった姿を目にできるよう待ち望んでいます。

日本の宝である国宝瑠璃光寺五重塔を守り続け、次世代へとつなげるため、皆様のお力添えと温かい御支援をよろしくお願いいたします。

クラウドファンディング(第2期)を11月30日(木)まで実施しています。詳細は下の二次元コードまたは

【瑠璃光寺五重塔クラウドファンディング】で検索。

☎クラウドファンディング実行委員会事務局 ☎083-933-0088

地域に生まれ、守り、受け継がれてきた文化財や伝統的工芸品は、故郷の歴史や文化を知ることができる大切な宝物であると同時に、新たな価値を生み出し、にぎわいを創出する源となるものです。

今回は、現在改修工事を行っている市内唯一の国宝「瑠璃光寺五重塔」と、本市唯一の伝統的工芸品「大内塗」にスポットを当て、文化財や伝統的工芸品の次世代への継承に向けた取り組みをご紹介します。

☎瑠璃光寺五重塔改修工事について：文化財保護課 ☎083・920・4111
大内塗について：ふるさと産業振興課 ☎083・934・2812

大内塗



室町時代、大内氏による中国(明)や朝鮮との交易において、漆器は重要な輸出品とされており、山口では、漆工芸が盛んに行われていました。大内塗は、こうした交易によって築き上げた経済力をもとに開花した華やかな大内文化の一端を象徴するものです。

天然木に大内朱と呼ばれる渋い朱色の漆を塗り重ね、色漆で描いた秋草模様と金箔の大内菱(大内氏の家紋)をあしらったのが特徴です。

市では、令和5年6月から、大内塗の継承と産業振興を担う山口市版地域おこし協力隊を任用しています。現在、2人の隊員は、大内塗を後世に継承していくための技法・技術の習得や、イベントなどを通じた大内塗の魅力発信などの活動を行っています。

Interview.

地域おこし協力隊
かねこ ゆうき
金子 祐樹 さん



下松市出身。「木地師かねこ」を開業し、大内人形の木地や食器などの製作に携わってきた。

もともとは大内塗の漆を塗る前の木地を作っていました。大内塗の継承や発展のために、自分にできることが何かないかなと思っていました。

現在は、漆を塗る道具や漆の扱い方について、塗師(職人)の方に技術指導していただいたり、大内塗の体験教室などに一緒に参加させてもらったりしています。

例えば代表的な大内人形の顔の絵付けでも、それぞれの事業者で表情に違いがあって、職人さんのこだわりを感じられるのが面白いですね。

まずは、より多くの皆さんに漆を知ってもらおうのが一番かな、と思います。その上で、伝統的な大内塗の形や技法を残しつつ、日常的に生活の中で取り入れやすいような、大内塗の商品を開発していきたいです。



▲イベントでの大内塗体験の様子

Interview.

地域おこし協力隊
つむら まい
津村 真衣 さん



山口市出身。山口県立大学でデザインを学ぶ中で、大内塗の商品開発に携わってきた。

大内塗の商品開発・デザインに携わる中で、大内塗の魅力を多くの方に目に見える形で伝えられるようになるために、技術や文化等をしっかりと理解し、今までの大内塗を尊重した上でこれからのものづくりを提案したい、と思ったのが協力隊に応募したきっかけです。

普段は、金子さんと一緒に、漆塗りを学んだり、ふるさと伝承総合センターや小学校での大内塗体験のサポートをしたりしています。

地元山口市で親しまれた大内人形などをより日常的に、贈り物として手に取ってもらいやすく、使ってもらいやすくなるように、膨らむような提案を今後していけたらと思っています。これからしっかりと大内塗を学び、自分なりの表現で発信していきます。



▲技術指導を受ける様子

Info.

昇華 -shouka- 大内文化

瑠璃光寺五重塔の全面改修を契機に、五重塔と大内文化の魅力を伝える、今しか見られない空間アートプログラムを実施中です。詳細は右の二次元コードから▶

▶場所 香山公園(香山町7-1)

☎観光交流課 ☎083-934-2810



Info.

大内人形まつり

▶日時 11月18日(土)、19日(日)10時～16時

▶場所 山口ふるさと伝承総合センターみやび館(下笠小路12)

▶内容

- ・大内塗作品展示・販売
- ・大内塗箸づくり体験、大内人形絵付け体験(10時～15時・当日随時受付)

☎大内塗漆器振興協同組合事務局

☎083-927-0619

詳細は右の二次元コードから▶



子育て・健康福祉分野

■ 待機児童ゼロに向けた取り組み

- ・ 保育施設の増築や改築などによる、合計 142 人の定員拡大
- ・ 放課後児童クラブの施設整備などによる、合計 95 人の定員拡大
- ・ 保育士等の人材確保に向けた取り組みの実施

■ 中学生までの医療費の無料化の継続

- ・ 令和 4 年度は、令和 3 年度に引き続き、乳幼児から中学 3 年生までの全ての子どもの医療費自己負担分を無料化

■ 地域医療体制の充実

- ・ 総合病院山口赤十字病院が行う病棟等の建て替えに対する支援及び耐震改修工事に対する支援
- ・ 済生会山口総合病院が行う病棟等の建て替えに対する支援
- ・ 山口市徳地診療所の供用開始
- ・ 地域医療に携わる看護師の養成等に対する支援

■ 地域包括支援センターの増設

- ・ 相談支援体制の強化に向けて、北東部圏域と南部圏域川西地域に地域包括支援センターを増設

その他の取り組み

小郡保健福祉センター内に常設の子育て相談スペースを設置、山口市みんなの手話言語条例の施行に併せたPRイベントなどの実施、新生児聴覚検査費用の公費負担、保育園等の給食の食材費高騰分の公費負担（再掲） など

教育・文化・スポーツ分野

■ ICT を活用した教育の推進

- ・ 学校と YCAM の連携のもとでの「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」として、児童・生徒 1 人 1 台のパソコンを活用した、地域の魅力発見に向けた取り組み等の実施
- ・ 学校におけるデジタル化や ICT 教育を支援する情報教育支援員の増員

■ 史跡大内氏遺跡「築山跡」の保存整備

- ・ 大殿地域の上堅小路に所在する築山跡史跡公園の開園及びオープニングイベントの実施
- ・ 築山跡史跡公園のオープンを記念した周遊イベントやラッピングバスの運行等を実施

■ 本市出身のオリンピック等と連携した取り組み

- ・ 「大野将平 次世代育成プロジェクト 山口市ジュニア柔道教室」の開催

その他の取り組み

中学校の部活動への部活動指導員の配置、学校給食費の公会計化、小・中学校の給食の食材費高騰分の公費負担（再掲）、山口市徳地文化ホールでの東大寺サミットの開催、史跡周防鋳銭司跡における新たな銭貨「饒益神宝（にょうやくしんぼう・じょうえきしんぼう）」の発見、C・S 赤れんが開館30周年記念事業の実施、大内氏や大内文化を紹介する冊子「西国一の御屋形様 大内氏がわかる本 文化交流編」の刊行 など



図1 本市の総合計画の位置づけ



図2 前期基本計画（令和4年度まで）に対する取り組み状況

	取り組みが順調な指標数
全体	158 指標
子育て・健康福祉分野	26 指標
教育・文化・スポーツ分野	29 指標
安全安心・環境・都市分野	53 指標
産業・観光分野	21 指標
協働・行政分野	29 指標

達成度が70%以上の指標の個数

本市では、平成30年度からの10年を計画期間とする長期的なまちづくりの指針である「第二次山口市総合計画基本構想」に基づき、5力年の前期基本計画を策定し、取り組みを進めています。前期基本計画最終年度の令和4年度は、「共に進める 未来都市づくり」予算と位置づけ、物価高騰等や農山村エリアの人口減少、社会全体のデジタル化や地域脱炭素などの新しい時代の流れに対応した取り組みを積極的に進めました。

ここでは、昨年度の本市のまちづくりへの取り組みと成果を紹介いたします。（図1参照）

第二次山口市総合計画では、政策を5つの分野に区分し、本市が目指すまちの実現に向けて、まちづくりの進み具合や事業の成果状況を客観的に把握・分析するため、316の成果指標を設定しています。

この成果指標は、市民の皆さんを対象に行っている「まちづくりアンケート」の結果などを基に評価し、「まちづくり達成状況報告書」（※）として毎年公表しています（図2参照）。

※「まちづくり達成状況報告書」は、ウェブサイトで確認できるほか、各総合支所等でご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対応した経済対策等の取り組み

総額約 58 億円

■ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた引き続きの取り組み

- ・ ワクチン接種体制の確保及び追加接種の実施
- ・ 小・中学校における学校活動等で県外を訪れた児童・生徒・教職員等を対象とした PCR 検査の実施
- ・ 感染症対策に向けた私立保育園や認定こども園における手洗い場の自動水栓化等の施設整備への支援
- ・ 保育園や幼稚園、小・中学校などにおける保健衛生用品の確保

■ 物価高騰等の影響を受けた生活者への支援

- ・ 令和4年度の住民税均等割が非課税の世帯等への1世帯当たり10万円の臨時特別給付金の給付
- ・ 低所得の子育て世帯に対する児童1人当たり5万円の子育て世帯生活支援特別給付金の給付
- ・ 出産・子育て応援給付金の合計10万円の給付
- ・ 保育園等や小・中学校の給食の食材費高騰分の公費負担
- ・ 「エール!やまぐち」プレミアム共通商品券の発行支援（総額約41億円発行）
- ・ リフォームを契機とした市内消費喚起の促進に向けた「安心快適住まいの助成事業」の実施



■ 物価高騰等の影響を受けた事業者への支援

- ・ 市内農業者や漁業者への燃料・資材等の価格高騰に対応した支援
- ・ 中小企業者等の経営改善に向けた省エネ機器等の導入に対する支援
- ・ 市内を運行するタクシー事業者の交通系ICカード決済端末機等の導入に対する支援

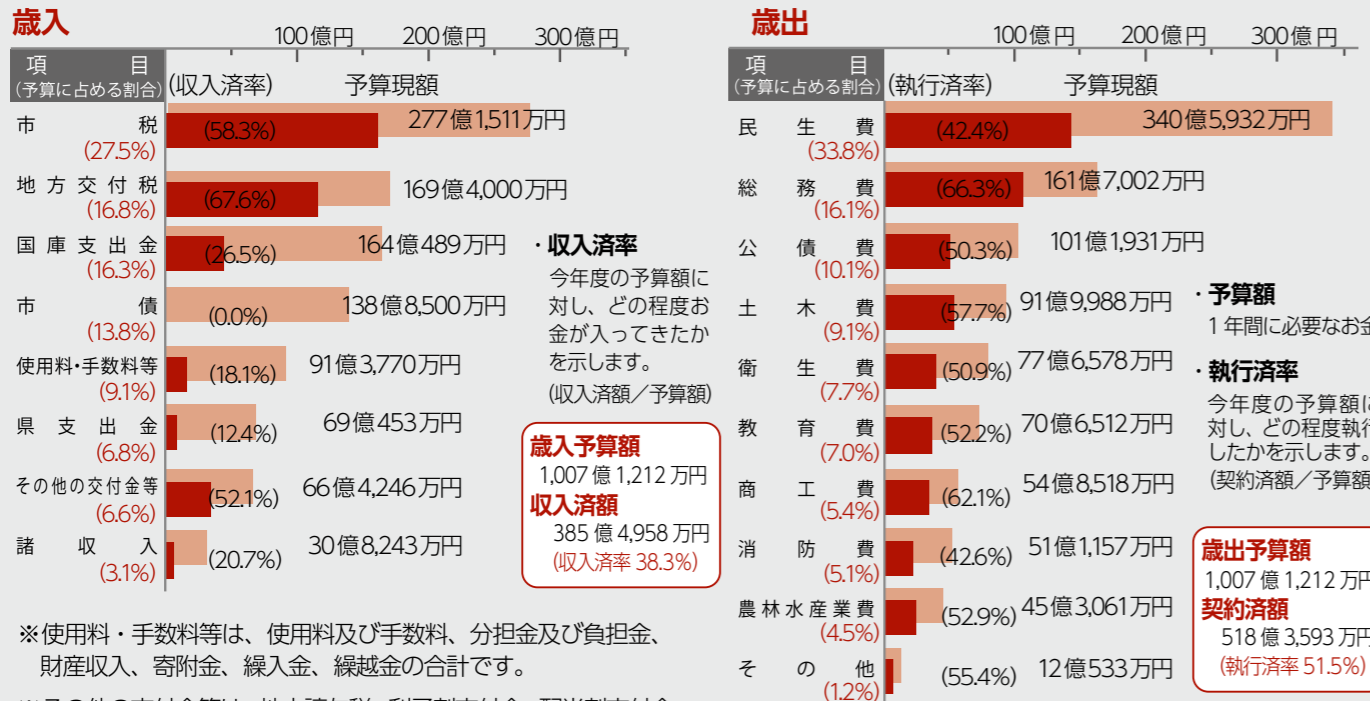
山口市の令和5年度上半期 財政状況を公表します

9月30日までに入ってきた金額と使われた金額やその内容など、令和5年度上半期の市の財政状況をお知らせします。
問 財政課 ☎ 083-934-2750

■ 一般会計の収支状況（9月末現在）

今年度の予算（9月末現在）は、1,007億1,212万円（市民1人当たり約54万円）

※予算現額には、令和4年度からの繰越額28億8,223万円を含んでいます。



※使用料・手数料等は、使用料及び手数料、分担金及び負担金、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金の合計です。

※その他の交付金等は、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の合計です。

令和5年度一般会計の予算は、当初予算に令和4年度からの繰越額28億8,223万円を加えた979億6,223万円でしたが、その後、27億4,989万円の追加補正を行い、9月末現在で1,007億1,212万円となりました。追加補正の主な内容は、物価高騰経済対策としての14億2,840万円です。

■ 特別会計の収支状況（9月末現在）

「特別会計」とは、国民健康保険や介護保険など、特定の目的をもって事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する会計です。

会計	予算現額	収入済率	執行済率	会計	予算現額	収入済率	執行済率
国民健康保険	204億1,321万円	36.5%	40.8%	地域下水道	703万円	34.0%	50.3%
後期高齢者医療	34億3,882万円	34.4%	33.8%	国民宿舎	1,955万円	65.7%	76.9%
介護保険	186億6,340万円	41.1%	41.2%	特別林野	552万円	34.1%	11.0%
介護サービス	1,544万円	32.7%	51.6%	合計	429億8,119万円	38.0%	40.4%
銭湯第二団地整備	4億1,822万円	0.0%	40.6%				

■ 市有財産現在高

区分	9月末現在高
土地	866万7,532.52㎡
建物	69万6,013.47㎡
山林	2万2,930.32ha
立木	523万6,232㎡
有価証券	1億2,197万円
出資による権利	9億9,896万1,998円
債権	3,104.09㎡
債権(現金)	13億4,351万6,600円
基金	243億724万6,856円
(土地)	10万2,895.28㎡

■ 市債の状況

区分	9月末現在高	1人当たりの現在高
一般会計	1,049億2,379万円	55万8,920円
特別会計	27億118万円	1万4,389円
合計	1,076億2,497万円	57万3,309円
利息	25億3,680万円	1万3,513円
一時借入金	0円	0円

※利息については、利率見直し等により変動します。
※9月末現在の人口 18万7,726人

安全安心・環境・都市分野

■ ハード・ソフト両面からの災害対策

- ・集中豪雨に対応するための遠隔操作可能な取水ゲートの改修工事や小郡下郷地区の長通り雨水幹線整備工事の実施
- ・浸水対策の推進に向けた各河川の護岸整備工事やため池の廃止工事等の実施
- ・災害時に支援を必要とする方の個別避難計画（避難マイプラン）の作成や更新、関係機関との情報共有などを一元的に管理するための「避難行動要支援者等管理システム」の導入



■ 地域脱炭素に向けた取り組み

- ・全国100カ所程度が選定される「脱炭素先行地域」に本市の計画提案が選定され、同計画に基づく取り組みを開始

■ 中心市街地の活性化

- ・中心商店街全体を活動の場とした子どもたちによるものづくりイベントの実施
- ・YCAMとの連携による子どもの遊び場「コログルあそびのひゃっかてん」を山口井筒屋で実施

■ その他の取り組み

市内全域を対象とした粗大ごみ戸別収集のインターネットによる申し込み受付の開始、基幹交通として必要なバス路線への支援や徳地・阿東地域における生活バスの運行 など

産業・観光分野

■ 農林水産業の振興に向けた取り組み強化

- ・市の組織に農林水産部を新設し、施策推進体制を強化
- ・農業生産における省力化や生産性の向上に向けたスマート農機等の導入支援
- ・新規就農者の経営開始に必要な機械器具整備への支援や家賃補助、新規漁業就業者の経営安定化に向けた経営自立化支援金を活用した支援等



■ 交流創出の取り組みの段階的な実施

- ・KDDI 維新ホールにおける、子どもの職業体験イベント「Out of KidZania in やまぐち 2022」、全国の地域伝統芸能団体が公演を行う「第30回地域伝統芸能全国大会」、農林水産物直売イベント「あぐまるやまぐち」等の開催
- ・湯田温泉における「湯田温泉白狐まつり」、「湯田温泉酒まつり」等の開催に対する支援



■ その他の取り組み

女性が活躍できる職場環境づくりに向けた施設改修支援等の実施、中高生向け職業理解フェア「やまぐち未来のしごとフェスタ」の開催、周辺市町等と連携した観光誘客・周遊促進事業等の実施、道の駅「きらら あじす」のリニューアルオープン など

協働・行政分野

■ 第二次山口市総合計画後期基本計画を策定

- ・市長や市職員が市民の皆様の意見を伺う「共につくる未来懇話会」などを実施した上で、令和5年度から令和9年度までを計画期間とする「第二次山口市総合計画後期基本計画」を策定

■ 総合支所及び地域交流センターの整備

- ・阿知須地域及び徳地地域において総合支所や地域交流センター等を一体整備した複合施設の供用開始、阿東地域交流センター篠生分館の供用開始

■ 新本庁舎の整備

- ・中央駐車場解体工事の実施及び新本庁舎の実設計、新本庁舎棟の建設工事着手

■ 行政のデジタル化の取り組み

- ・マイナンバーカードを使って申請書を書かずに証明書等を発行できる行政キオスク端末を本庁舎と阿知須総合支所に設置
- ・災害時の拠点となる地域交流センター（分館含む）における公衆無線LANの増強整備



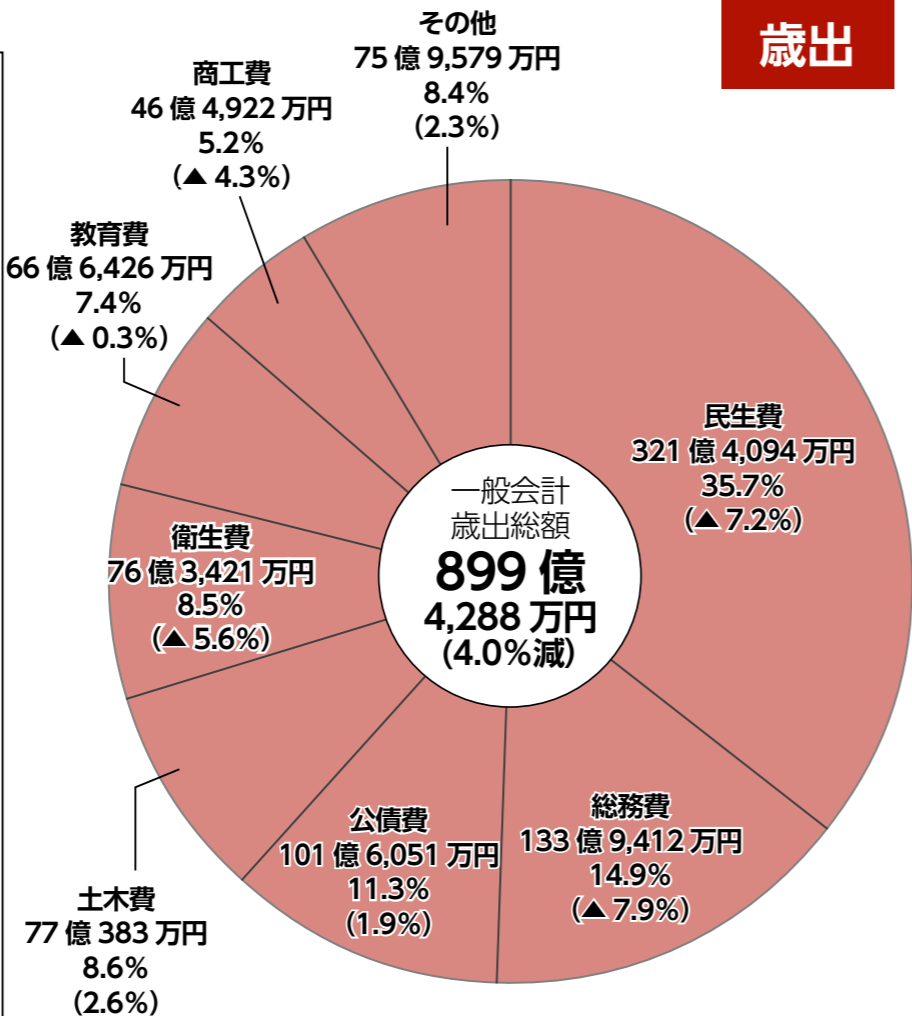
■ その他の取り組み

移住・定住促進に向けた取り組み、湯田温泉パークの実設計等、地域づくり交付金の交付 など

市民1人当たり換算すると
47万9,251円

【内訳】

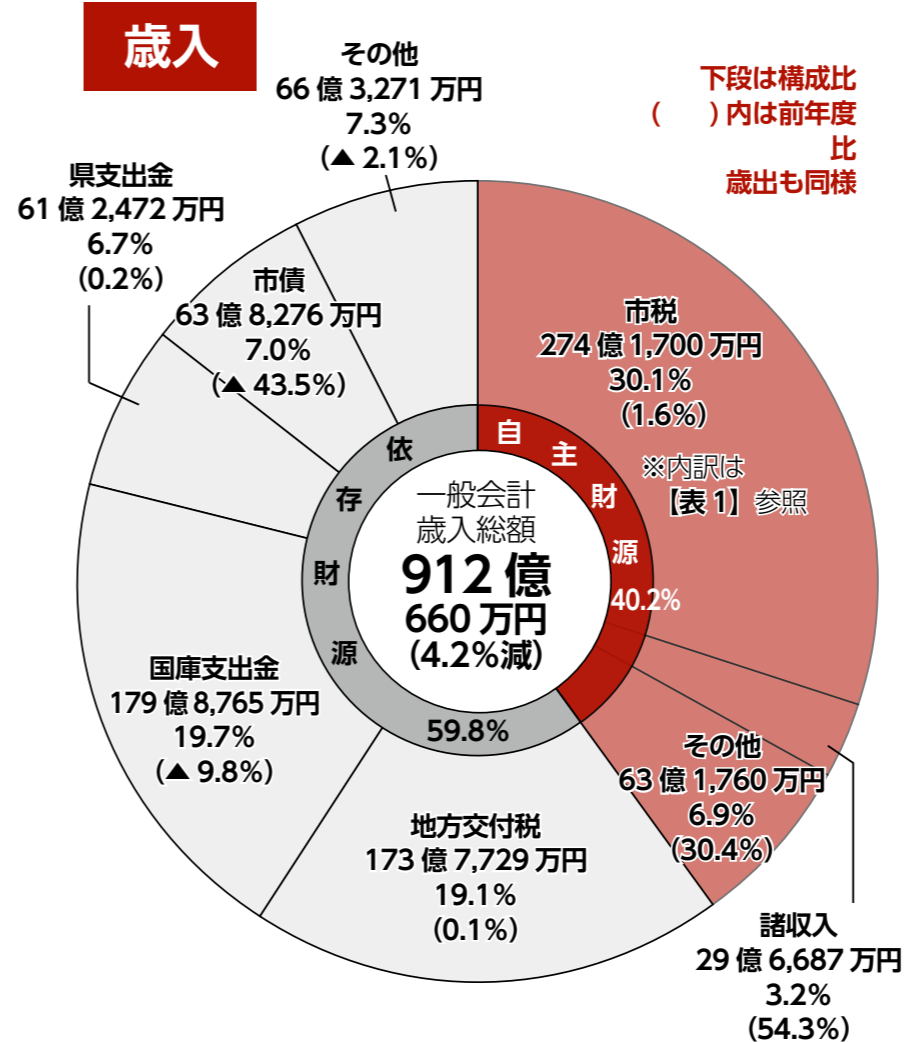
- 民生費 児童、高齢者、社会全体の福祉のために 17万1,260円
- 総務費 市の運営や地域の振興のために 7万1,369円
- 公債費 市債の償還のために 5万4,139円
- 土木費 道路や公園の整備などのために 4万1,049円
- 衛生費 生活環境の充実のために 4万678円
- 教育費 学校、社会教育のために 3万5,510円
- 商工費 商業や観光の振興のために 2万4,773円
- その他 (議会費、災害復旧費、労働費など) 4万473円



【表2】市債の状況

区分	令和4年度末現在高	市民1人当たり現在高
一般会計	1,098億577万円	58万5,088円
特別会計	28億6,680万円	1万5,275円
合計	1,126億7,257万円	60万363円
3月末現在高に対する利息	27億4,315万円	1万4,617円

※利息については、利率見直し等により変動します。



【表1】市税の内訳

税目	令和4年度決算額	構成比(%)	前年度比(%)	市民1人当たり金額
個人市民税	100億3,435万円	36.6	0.3	5万3,467円
法人市民税	21億2,578万円	7.8	▲5.2	1万1,327円
固定資産税	117億3,605万円	42.8	3.4	6万2,534円
軽自動車税	6億5,941万円	2.4	5.0	3,514円
たばこ税	12億3,647万円	4.5	5.3	6,588円
入湯税	5,901万円	0.2	37.0	314円
都市計画税	15億6,593万円	5.7	2.4	8,344円
合計	274億1,700万円	100.0	1.6	14万6,088円

市民1人当たり換算すると
48万5,984円

市が自ら調達できる収入 (自主財源)

- 市税 14万6,088円
- 諸収入 1万5,809円
- その他 (分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金) 3万3,663円

国や県を経由する収入 (依存財源)

- 地方交付税 9万2,593円
- 国庫支出金 9万5,845円
- 県支出金 3万2,635円
- 市債 市の借金 3万4,010円
- その他 (地方譲与税、各種交付金) 3万5,341円

一般会計

一般会計とは、市税などを主な財源として、道路・公園の建設や福祉、医療、教育など、まちづくりに関する事業を行うための中心的な会計です。

令和4年度の決算額は、歳入が912億660万円、歳出が899億4288万円、対前年度伸び率が歳入4.2%の減、歳出4.0%の減となりました。

歳入

市税は、法人市民税が減少したものの、固定資産税や軽自動車税などが増加したことにより、前年度と比べて約4億4千万円増の274億1700万円になりました。地方交付税は基準財政需要額の増などにより、約2千万円増の173億7729万円になりました。

また、国庫支出金は子育て世帯臨時特別給付金給付事業の終了に伴う減などにより、約19億6千万円減の179億8765万円に

歳出

民生費は子育て世帯臨時特別給付金給付事業の終了に伴う減により、前年度と比べて約24億9千万円減の321億4094万円になりました。総務費は財政調整基金積立が増となったものの、減債基金積立が減となったため、前年度と比べて約11億4千万円減の133億9412万円になりました。土木費は幹線道路関連整備事業の進捗の増により、前年度と比べて約1億9千万円増の77億383万円になりました。

このほか、衛生費は新型コロナウイルス感染症対応として実施した予防接種事業などの減により、前年度と比べて約4億6千万円減の76億3421万円になりました。

令和4年度の市税の決算内訳は【表1】のとおりです。
 令和4年度末の市債(借金)の状況は【表2】のとおりです。

市の財政ってどうなっているの？

山口市の台所事情 ～1カ月分の家計に例えると～

令和4年度決算を分かりやすくするために、山口家（お父さん、お母さん、2人の子ども）の家計に置き換えて考えてみましょう。

1カ月分の金額は令和4年度普通会計（※）決算額を市の人口（18万7,674人 / 令和5年3月31日現在）で割って算出し、千円単位で四捨五入。（ ）内は令和4年度決算額

※普通会計とは、地方公共団体間の財政比較のため、地方財政統計上の統一的に用いられている会計区分です。本市の普通会計には、一般会計、地域下水道事業特別会計、特別林野特別会計が含まれます。



収入		支出	
給料（基本給） 14万6,000円 ① (市税 274億1,700万円)	食費・教育費・公共料金・ 生活用品費など 15万7,000円 ㉠ (人件費・物件費 294億1,093万円)	給料（諸手当） 13万3,000円 ② (地方交付税・各種交付金など 249億3,107万円)	医療費・養育費 10万6,000円 ㉢ (扶助費 198億9,769万円)
アルバイト収入 9,000円 ③ (使用料・手数料・寄附金 15億9,754万円)	子どもへの仕送り 4万円 ㉡ (繰出金 75億2,601万円)	親などからの援助 12万9,000円 ④ (国・県支出金 241億4,974万円)	交際費など 4万8,000円 ㉣ (補助費等 89億2,155万円)
ローンの借入れ 2万9,000円 (市債〈臨時財政対策債を除く〉54億6,170万円)	ローンの返済 5万4,000円 ㉤ (公債費 101億6,040万円)	預金の取り崩し 1万5,000円 (基金繰入金 28億7,845万円)	家の増改築、家電購入など 6万3,000円 (普通建設事業費・災害復旧費・維持補修費 118億3,468万円)
不動産収入など 1万9,000円 (財産収入・諸収入など 36億3,994万円)	投資 5,000円 (投資及び出資金・貸付金 10億21万円)	前月の残り 6,000円 (繰越金 11億2,678万円)	預金 6,000円 (積立金 11億8,623万円)
収入合計 48万6,000円 (合計 912億222万円)	支出合計 47万9,000円 (合計 899億3,770万円)		

家計に例えると…

給料などに加えて、親からの援助を活用して家計を賅っています。

支出を見ると、食費・教育費・公共料金・生活用品費、医療費・養育費といった生活費が26万3千円（㉠＋㉢）、子どもへの仕送りが4万円（㉡）、交際費が4万8千円（㉣）、ローンの返済が5万4千円（㉤）あり、これらを合わせて毎月必要な支出は47万9千円になっています。

一方収入を見ると、給料やアルバイト収入を合わせて28万8千円（①＋②＋③）ありますが、これだけでは毎月の支出金額を賅うことができません。

このため、親からの援助12万9千円（④）を活用してやりくりをしています。なお、毎月の残金と借入金等により、家の増改築、家電購入などを行っています。



基金の残高

区分	令和4年度末 残高	市民1人当たり 現在高
財政調整基金	39億2,671万円	2万9,233円
減債基金	45億4,408万円	2万4,213円
その他特定目的 基金	106億3,859万円	5万6,686円
合計	191億938万円	10万1,822円

財政調整基金

経済事情の変動等で財源が不足する場合に、年度間の財源の不均衡を調整するための基金

減債基金

地方債の償還を計画的に行うための基金

その他特定目的基金

大規模施設の整備などのための基金



【表3】令和4年度特別会計歳入歳出決算概要

区分	歳入決算額	前年度比	歳出決算額	前年度比	1人当たり 歳出金額
国民健康保険	193億887万円	▲4.7%	192億4,054万円	▲4.8%	10万2,521円
後期高齢者医療	33億463万円	3.4%	32億8,348万円	4.2%	1万7,496円
介護保険	177億2,566万円	▲0.5%	174億308万円	▲0.7%	9万2,730円
介護サービス事業	1,550万円	11.4%	1,532万円	27.5%	82円
駐車場事業	0円	皆減	0円	皆減	0円
鑄銭司第二 団地整備事業	20億6,794万円	71.2%	20億6,794万円	95.0%	1万1,019円
地域下水道事業	635万円	▲12.9%	584万円	▲11.3%	31円
国民宿舎	3,421万円	34.0%	3,180万円	35.0%	169円
特別林野	719万円	▲2.8%	691万円	20.7%	37円
合計	424億7,035万円	▲1.0%	420億5,491万円	▲0.7%	22万4,085円

特別会計は、特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要があるときに設けることができる会計です。原則、独立採算で運営します。令和4年度特別会計の歳入歳出決算は、次の【表3】のとおりです。

特別会計

水道事業会計などの決算をウェブサイトで公表しています

水道事業や公共下水道事業などの公営企業会計は、受益者の皆様にご負担いただく水道料金などを主な財源として独立採算制による事業運営を行っています。令和4年度決算の状況については、上下水道局のウェブサイトで公表していますので、右の二次元コードからご確認ください。



今後の見通しと取り組み

将来のまちづくりと持続可能な財政基盤の確立に向けて

本市では、合併以降、未来を確かにするためのまちづくりに積極的に取り組みながら、市債の返済などに備えた基金も積み立ててきました。

一方で合併から10年以上が経過し、合併した自治体に対する国の財政支援措置が終了したことや、人口減少や少子高齢化の進展に対応した社会保障サービスなど今後必要となる多様な行政サービスの確保に向けた経費が増加するため、今後の財政運営は厳しくなる見通しです。

このような状況を踏まえ、持続可能な財政基盤の確立を図るため、令和5年3月に策定した「財政運営計画」に基づき、今後も引き続き、歳入・歳出両面から行財政改革の取り組みを進めていきます。

※「山口市の台所事情」や「財政運営計画」など、詳しくは市ウェブサイトに掲載しています。

山口市 財政



圏域7市町のイベント情報

美祿 秋吉台でジオガイドと行くススキの原ウォーキング

ススキが一面に広がる気持ちの良い季節。認定ジオガイドと共に秋吉台を学びながら歩きませんか。健康測定や特産品おもてなしもあります(ウェブサイト申込フォームから要事前申し込み)。
▲詳細はこちら

日時 11月19日(日) 10時から
集合場所 カルスター
定員 先着 20人
問 美祿市観光協会 ☎ 0837-62-0115
スマイルコースト・ウォーク

山陽小野田 山陽小野田市の美しい海岸線と夕陽を楽しむ約30km

美しい海岸線や焼野海岸の夕陽を体感しながら、名産品などの「食」を楽しめます。
▲詳細はこちら

日時 11月25日(土) 9時~17時(荒天中止)
集合場所 ドライブインみちしお(大字植生 2216-7)
定員 先着 200人(11月10日(金)までに要事前申し込み)
問 山陽小野田観光協会事務局 ☎ 0836-82-1313

萩 萩時代まつり

江戸時代からの伝統を誇る萩市古来の奉納行列「萩大名行列」が、市内を練り歩く秋の一大イベントです。萩の町で、当時にタイムスリップしたような歴史絵巻が展開されます。
▲詳細はこちら

日時 11月12日(日) 8時~16時
場所 中央公園(大字江向 552-2)ほか市内各所
問 萩市観光課 ☎ 0838-25-3139

宇部 TOKIWA ファンタジア 2023

光と音を融合させたメディアアートの演出で華やかに彩られた高さ約12mのツリーや、地域の学校や企業によるイルミネーション作品をお楽しみください。
▲詳細はこちら

日時 11月26日(日) ~ 令和6年1月8日(月・祝) 18時~21時30分(入場は21時まで)
場所 ときわ遊園地(則貞 3-4-1)
問 宇部市ときわ公園課 ☎ 0836-54-0551

津和野 文化講演会② 鷗外と東京

「鷗外と東京」をテーマに、大妻女子大学名誉教授で森鷗外記念館の会長でもある須田喜代次氏にご講演いただきます。
▲詳細はこちら

日時 11月26日(日) 14時30分~16時
定員 先着 40人(要事前申し込み)
所 森鷗外記念館(町田イ 238) ☎ 0856-72-3210

防府 御神幸祭(裸坊祭)

御神幸祭は、学問の神様・菅原道真公の御霊を慰めるために、道真公最後の寄港地・防府で斎行された勅使降祭に由来する神事です。
▲詳細はこちら

日時 11月25日(土) 18時~20時30分
場所 防府天満宮(松崎町 14-1) ~ 勝間浦御旅所(警固町 2-6)
問 防府天満宮 ☎ 0835-23-7700

知れば、もっと楽しい!



見どころガイド vol.6

問 山口情報芸術センター [YCAM] ☎ 083-901-2222

オープンから20周年、そして未来へ

20年前の2003年11月1日に山口情報芸術センター[YCAM]はオープンしました。オープン以来、今日に至るまで、YCAMは山口を拠点に、メディアテクノロジーを応用した展覧会や公演、ワークショップなど、多様なアプローチで創造の発信に努めてきました。とりわけ本年は開館から20周年という節目ということもあり、子ども向けの遊び場「コロガルあそびのひゃっかてん」や、展覧会「あそべる図書館」をはじめ、さまざまなイベントを開催しています。いずれもこれまで培ってきたネットワークやアイデアなど有形無形の資産なしには実現できないものばかりです。創造が新たな創造の端緒となり、人のつながりが新たな人のつながりを生む。YCAMの活動とは、



「コロガルあそびのひゃっかてん」の様子

そうした絶え間ないサイクルのことです。まだ小さく、いびつなサイクルかもしれませんが、ここまで活動を続けることができたのも、ひとえにご来館いただいた皆さま、ご協力・ご支援いただいた皆さまのおかげです。この場を借りて心より御礼申し上げます。

YCAMが掲げたミッション、すなわちメディア・テクノロジーとの適切な向き合い方、文化基盤としての情報の可能性、さらには人間にとっての情報の意味についての探求の道は道半ばです。今後「ともに作り、ともに学ぶ」ことを大切にしながら、活動の輪を大きく広げ、深化させられるよう、これまで以上に積極的に活動を展開していきます。YCAMのこれからどうぞ注目ください。



YCAMの外観

TOPICS
市政トピックス



ウェブサイトでも公開中

人命救助を行った方々へ感謝状を贈呈しました

9月18日(月・祝)、中原中也記念館の入館者が80万人に到達し、記念セレモニーが開催されました。80万人目は、福岡県在住の山下仁美さんが、福田百合子名誉館長から、記念品が贈られました。山下さんは「学生時代から中也の詩が好きで、特に『別離』という詩が好きです。いろいろな展示を楽しみながら見させてもらって、中也と作品を感じた」と話されました。



▲記念撮影の様子(左から中原館長、福田名誉館長、山下さん)

中原中也記念館は、平成6年2月に開館し、入館者70万人達成から5年8カ月で80万人達成となりました。開館30周年を迎える来年は、特別展示のほか、イベントなども予定しています。

問 中原中也記念館 ☎ 0833・93226430

9月29日(金)、山口市消防本部は、男性が急に倒れ心肺停止となった救急事案において、迅速で的確な救命処置を実施した4人と施設事業所に對し、感謝状を贈呈しました。

感謝状を贈呈されたのは、KDDI 維新ホール内のメディアフィットラボスポーツクラブの運営を行う山口スィムサービス株式会社と従業員の鈴木英明さん、藤井千尋さん、佐伯優香さん、外部講師の滝口佳彦さんの4人です。4人は、メディアフィットラボスポーツクラブ内において60歳の男性がランニングマシン利用中に意識を失い倒れた際に、119番通報、胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAEDの使用による救命処置を連携して行いました。



▲記念撮影の様子(右から、鈴木さん、藤井さん、佐伯さん、山口スィムサービスの新造さん)

感謝状贈呈にあたって、酒井消防

在青島日本国総領事が市長を表敬訪問されました

9月29日(金)、斎藤憲二在青島日本国総領事が、市長を表敬訪問されました。斎藤総領事は本年9月に着任され、青島市が本市の友好都市・済南市(中国)と同じ山東省にあることなどから、着任のあいさつのため訪問されました。



▲意見交換する斎藤総領事(左)と市長(右)

市長は「本市と済南市の交流の根幹には文化交流がある。自然に交流の間口が広がっていくといいですね」と述べました。

問 国際交流課 ☎ 0833・9342725

表紙の写真
「南部地域の魅力を体感」

表紙の写真は、10月1日に開催されたツール・ド・ヤマグチ湾2023の様子です。山口きらら博記念公園をスタート・ゴールに、南部地域に設置された5カ所のエイドステーションと、8カ所のチェックポイントを巡る、オリエンテーリング形式のサイクリングイベントとして開催されました。

県内外から集まった254人のサイクリストの皆さんは、爽やかな秋晴の下、きれいな景色を写真に収めたり、出会う地元の人々と会話を交わしたりと、自身の体力やレベルに合わせて思い思いに周遊を楽しんでいました。



鑄銭司のマスカット大福を味わう、ゲストライダーの片山右京氏。地域の方々のおもてなしに自然と会話も弾みます。

問 広報広聴課 ☎ 0833・9342753



イベントカレンダー

11/3 (金・祝)

長門峡もみじ祭

所 道の駅「長門峡」周辺
開 実行委員会
☎ 083-955-0011

おごおり福祉まつり

所 小郡総合支所駐車場
開 実行委員会
☎ 083-902-6571

11/5 (日)

あいお祭り

所 秋穂地域交流センター
開 実行委員会
☎ 083-984-5333

あいお花火まつり

所 大海漁港
開 県央商工会秋穂支所
☎ 083-984-2738



徳地フェスティバル

所 徳地地域複合型拠点施設周辺
開 実行委員会
☎ 0835-52-0095

11/12 (日)

あじすふれあいまつり

所 阿知須総合支所周辺
開 阿知須地域づくり協議会
☎ 0836-65-4127

11/17 (金) ~ 19 (日)

常栄寺雪舟庭紅葉ライトアップ

所 常栄寺
☎ 083-922-2272

料金：中学生以上 300 円
(小学生以下無料)



山口漫画学校生徒作品展示会

所 山口市菜香亭
☎ 083-934-3312

山口漫画学校生徒のイラストや漫画などを約 80 点展示します。

11/23 (木・祝)

山口天神祭

所 山口市中心商店街ほか
開 古熊神社
☎ 083-922-0881



11/24 (金) ~ 12/31 (日)

新山口イルミネーション

点灯式：11/24 (金) 18 時
所 新山口駅北口駅前広場・南口駅前広場
開 実行委員会
☎ 083-976-8588

11/29 (水) ~ 12/4 (月)

第 12 回やまぐち新進アーティスト大賞受賞者展覧会「コサカダイキ展 The fruit of the tree of life」

所 山口井筒屋 5 階美術ギャラリー
開 文化交流課
☎ 083-934-2717



開催中のイベント

12/28 (木) まで

ナナシマチの図書館をめぐるスタンプラリー

所 山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町の各市町立図書館

開 中央図書館
☎ 083-901-1040

詳しくは右の二次元コードをご参照ください。



山口市長

伊藤和貴



©りおた

世界の人々に愛される国際交流都市 山口

本市では、海外都市とのさまざまな交流を通じて、本市の魅力発信し、経済交流の発展や国際感覚を備えた人づくりに取り組んでいます。

こうした中、先月、本市の姉妹都市である韓国公州市において開催された姉妹都市締結30周年記念式に、私も公式訪問団として出席してまいりました。

滞在中には、公州市の歴史文化イベント「大百済典」や「世界文化遺産「百済歴史地区」を視察し、日本文化の源流ともいわれる百済文化を感じるとともに、本市と同様に、脈々と受け継がれる歴史文化資源を活用したまちづくりに取り組む公州市の魅力に触れることができました。

また、私からも、本市の礎を築いた大内氏の先祖が、百済から渡来したといわれることや、大内文化をはじめとする本市の魅力をお伝えいたしました。

この度の訪問を契機に、これからも海外都市との交流を積極的に進め、本市の多彩な魅力を生かしたインバウンド誘客など、地域経済の活性化にもしっかりとつなげたいと思います。



共に歩む

